

# ほたるっ子



磐梯第一小学校  
学校だより  
NO. 16  
R5. 5. 2

ドリーム & チャレンジ！ ～あいさつ・はっぴょう・なかまとじぶん～ (文責:校長 菅家 篤)

創立 150 年記念事業

## 「第1回実行委員会」 が行われました！



記念事業部会の話合いの様子

先週金曜日の夕刻から、創立150周年記念事業の第1回実行委員会が本校で行われました。

実行委員は、本校卒業生のOB・OGとPTA役員、保護者の方々からなる総勢13名です。

実行委員長を前田諭志PTA会長さんに務めていただくことになりました。

10月27日に予定している記念式典等に向けて、記念事業部会と式典・祝賀会部会に分かれそれぞれ計画・準備を進めていきます。

「子どもたちが主役になれる記念事業」がコンセプトです。

実行委員の皆様には、今後も大変お世話になります。とても心強く思っております。学校だけでは成し得ない大きな事業です。保護者の皆様にも、お力添えをいただくこともあろうかと思えます。その際は、ご協力のほど何とぞよろしくお願いいたします。

## みんな初めて ～子育てはうまくいかなくて当たり前～

中学生の息子を持つ父親Sさんの話です。なにかにつけて扱いづらい年頃の中学生、Sさんの息子も多分に漏れず親や教師に反抗し通しで、Sさん、ほとんど手を焼いて、自分の子育てにすっかり自信を無くしていたのだそうです。

ある夜、Sさんは息子をこっぴどく叱りました。どうして親の気持ちを分かってくれないのか・・・ 情けなさともどかしさのあまり、Sさんはついに息子に手をあげてしまいました。

すると、息子は猛然と抗議に出ました。父親の体罰をなじり、普段の口うるささに自分がいかに苦しめられているかを訴えて、こんなふうにしたのです。

「文句ばっか言うなよ！ 俺、生まれて初めて中学生やってんだぞ！」

Sさん、ぼう然としたそうです。屁理屈にもほどがあるではないか…。

ところが次の瞬間、売り言葉に買い言葉で、Sさんは思わず怒鳴り返しました。

「うるさい！ お父さんだっ、中学生のお前を育てるのは生まれて初めてなんだ！」

息子もきょとんとした顔になりました。お互いに言葉が途切れしました。ぽかんと抜けたような沈黙がしばらく続き、そして二人はどちらからともなく笑い出しました。

親も子どもも、共に生まれて初めての日々を生きています。

いや、人生そのものが「生まれて初めて」の連続ではないでしょうか。

そう考えると、肩の力が抜けてきませんか？

